



# 園だより

令和6年4月1日

目黒区立第二上目黒保育園長

13名の卒園児が小学校へと進級し、新たに11名の仲間を迎えて新年度がスタートしました。3月下旬、進級した保育室で過ごした期間は「新しい〇〇組さん」と呼ばれていたのが、今日から本当の「〇〇組」です。ひとつ大きくなるということは子どもたちにとって誕生日と同じくらい嬉しいことのように、楽しみながら新しい環境に馴染んでいく姿には生きる力がみなぎっています。

入園、進級の喜びばかりではなく、環境が変わることへの不安もあるだろうと思いを巡らせています。一人ひとりに応じた丁寧な寄り添いをすることで子どもたちにとっての『信頼』と『安心』を揺るぎないものにしていくために、職員一同努めてまいります。保護者の皆様とお子さんの日々の成長を喜び合い、子育ての悩みや迷いも分かち合いながら一緒に歩むことを大切にしていきます。

公立保育園としての最終年度です。園目標『心身ともに健康な子ども』を『心身ともに健康な子どもたち・大人たち』と読み替え、園に関わる誰もが明るく元気に過ごせることを願いながら一日一日を大切に過ごしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 【保育目標】

### 心身ともに健康な子ども

- ・豊かな心を持った子ども
- ・自主自律のできる子ども
- ・創造力、表現力のある子ども



入園説明会

入園・進級お祝い会

中旬 身体計測

避難訓練

クラス懇談会

5歳児クラス懇談会

16:30~18:00



## 0歳児クラス（つぼみ組）

喃語や表情から一人ひとりの気持ちを汲み取り、丁寧に応じながら安心して過ごせるようにします。目と目を合わせて手遊びや触れ合い遊びを楽しみ、人と関わる心地良さ感じられるようにしていきます。保護者の方と成長の姿を喜び合い、保育園での最初の一年間を楽しく過ごせるようにしていきます。

## 2歳児クラス（たんぽぽ組）

お出掛けごっこをしたり人形の世話遊びをしたり、好きな遊びを楽しむようになります。イメージを膨らませながら遊ぶことで“楽しい”“面白い”を体験出来るようにします。保育士や友達とのやり取りを通じて言葉を吸収したり、一緒に遊ぶ楽しさを伝えていきたいと思えます。戸外等での様々な探索活動も楽しみ、興味の範囲が一層広がるように援助していきます。



## 4歳児クラス（すみれ組）

自分で出来ることが益々増えてきました。

“やってみよう”と様々な活動に対して意欲的に向かう気持ちを育てていきたいと思えます。友達との関わりの中で相手の思いに気づき、自分の思いとの違いに葛藤する時期でもあります。一人ひとりの心に寄り添いながら友達との関わり方を一緒に考え、仲間作りを深められる一年間を過ごしていきます。

## 調理室（栄養士・調理）

保育園では、素材にこだわってだし汁やカレーも手作りします。毎日心を込めて、子どもたちの心と体を育む給食を作ります。調理室から一歩出て子どもたちと積極的に関わり、食育活動にも力を入れています。レシピのリクエストも大歓迎です。

## 用務

子どもたちが楽しく過ごせる安心で安全な環境を整えます。子どもたちと一緒に野菜の苗や花を育てたり、季節の行事にちなんだ飾りつけ等を行うことで感性を育て、活動の楽しみにつなげていきます。

# は・じ・め・の い〜つぽ

～ともに育ちあう一年間へ～

## 1歳児クラス（ちゅうりっぷ組）

生活や遊びの中で“自分でやりたい”という気持ちが育ってきました。好きな遊びをじっくり楽しんだり、探索や追いかっこ等で体を動かしたりして、十分に楽しさを感じられる経験を積み重ねていきます。自我の育ちとともに自己主張も少しずつ現れてきます。気持ちに寄り添うことで一人ひとりの思いを大切にしていきます。

## 3歳児クラス（さくら組）

共通の経験をもとに友達と同じイメージで遊びを楽しんでいます。幼児クラスに進級し、これまで以上に友達との関係が広がっていきませんが、その中でぶつかり合いも経験しながら、遊びを通して関わる楽しさを感じてほしいと思えます。4・5歳児クラスと一緒に活動したり、行事に参加する機会も増えます。お兄さん、お姉さん達の姿を見て“自分もやってみたい”と意欲を持って取り組む経験を積み重ねていきます。

## 5歳児クラス（ひまわり組）

友達と好きな遊びを楽しんできたことで関わりが深まり、一緒に考え、話し合い、協力して遊びや行事に取り組んでいます。当番活動や一番年上のクラスとして誰かの役に立つ喜びを感じながら、優しさや自信を持って過ごしてほしいと思えます。保育園生活最後の一年間です。遊びや行事等、仲間との様々な経験を通じて一人ひとりが力を発揮することで、クラス全体の成長につながるようにしていきます。



## 看護師

子どもたちに自分の体の不調について「どうして痛くなったのか」「どこが変なのか（気持ち悪い）」等と質問すると、一生懸命その子なりに話しています。自分の気持ちや体調を言葉や仕草で表現出来ることはとても大切だと考えています。楽しく興味を持てるような話をすることで、自分の体に関心を持って生きる力を育てていきます。